

令和7年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和8年2月16日
認定こども園 津久井ヶ丘幼稚園
園長 南雲麻由美

1. 本園の目指す園児像（教育・保育目標）

- 元 気 丈夫な体と強い意志をもつ子どもの育成
- や る 気 創造性豊かで、自ら考え行動する子どもの育成
- 心やさしい子 礼儀正しく、心優しい子どもの育成

2. 今年度重点的に取り組む目標・計画

- 個性を尊重した主体的な学びと、学年の枠を超えた保育活動を推進する。
- 安全管理と環境整備の充実を図る。

3. 評価項目と評価の視点

	評価項目	評価	取り組み状況
1	子どもたちの自発的な学びを促進するための活動計画を再構築する。	B	個々の意欲を引き出す言葉や対応について、園全体での話し合いを繰り返しながら活動を計画し実践できた。
2	緊急事態発生に備え、事業継続計画をもとに職員と保護者の共通理解を図る。	C	訓練の内容や回数など、日頃から防災に対する意識を高めるための工夫と、保護者への発信が不足していた。
3	子ども一人一人を尊重した適切な対応を推進する。	A	これまでの当たり前を見直すとともに、適切な保育について専門家の意見を参考にした取り組みを行った。

評価 (A:十分に成果があった B:成果があった C:少し成果があった D:成果がなかった)

4. 総合的な評価結果

評価	理由
B	個々の思いを尊重した丁寧な関わりを心掛け、「げんき・やるき・やさしさ」についての伝え合いができた。異年齢交流の機会を多く設定し子ども同士の育ち合いも大切にした。保護者に向けて災害時の対応など園の取り組みについての発信が足りなかった。

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み
1	教育課程	対話と共感をキーワードに、個性を尊重した自発的な学びを促進する。 従来の在り方にとらわれることなく新たな提案を柔軟に取り入れる。
2	安全管理	防災教育を特別なことから日常へ取り込み身につける。
3	環境整備	地域の人材や物的環境を最大限に取り入れ、園外保育の充実を図る。

6. 学校関係者評価委員会の評価

- ・自発的で主体的な学びについては、小学校そして中学校にもつながる大切な取り組みである。
- ・園の活動は、季節や伝統的な行事を取り入れ子どもたちの興味や関心を引き出している。
- ・園バスの安全対策など保護者に向けて定期的に詳細を伝えると良い。
- ・防災訓練については、回数を増やし非常時に対する意識を高める工夫が必要である。
- ・SDGs を掲げた取り組みをしているが、感触遊びの材料として使用している食材については扱い方や子ども達への伝え方を改善したい。
- ・保護者や地域協力者の力を借りて園内園外での活動を更に充実させたい。